



◆億と兆

千万より大きな数のよみ方としくみをまとめましょう。

一兆 ちよう				一億 おく				一万				一
の位 くら	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位
1	2	5	2	3	5	4	0	6	7	8	9	0

① 上の にあてはまる位の^{くら}名前を書きましょう。

② 一万の^{くら}位の6は、1 万が ^{あらわ}こあることを表しています。

また、一億の^{くら}位の3は、1 億が ^{あらわ}こあることを表しています。

③ 上の数を^{かんじ}漢字で書きましょう。

一 二千五百二十三 五千四百六

④ 千億の^{くら}位の2は、

十億の^{くら}位の2の ^{ばい}倍の^{あらわ}大きさを表しています。

^{くら}位が1けた上がると、
数は10倍^{ばい}になるよ。
^{くら}位が2けた上がると、
数は100倍^{ばい}になるよ。



百億の^{くら}位の5は、

千万の^{くら}位の5の ^{ばい}倍の^{あらわ}大きさを表しています。

⑤ 一兆の10倍^{ばい}の数は といい、 と書きます。

⑥ 百兆は一兆の ^{ばい}倍の数で、十兆の ^{ばい}倍の数です。

⑦ 百兆の10倍^{ばい}の数は といい、 と書きます。

一、十、百、千の^{かえ}くり返しだね。





つぎ
次の数を、下に数字で書きましょう。

- 九千三百八十七

[illegible]



◆大きな数のたし算、ひき算

65 億^{おく} + 32 億^{おく} の計算のしかたを考えましょう。

1 億^{おく} をもとにして考えると…。

65 億^{おく} は 1 億^{おく} が こ

32 億^{おく} は 1 億^{おく} が こ

あわせて 1 億^{おく} が こ

65 億^{おく} + 32 億^{おく} =



382 兆^{ちよう} - 76 兆^{ちよう} の計算のしかたを考えましょう。

1 兆^{ちよう} をもとにして考えると…。

382 兆^{ちよう} は 1 兆^{ちよう} が こ

76 兆^{ちよう} は 1 兆^{ちよう} が こ

のこりは 1 兆^{ちよう} が こ

382 兆^{ちよう} - 76 兆^{ちよう} =



◆整数のしくみ

850 億^{おく} の 10 倍^{ばい}、100 倍^{ばい}、 $\frac{1}{10}$ の数を書きましょう。

10 倍すると、位^{くらい}が 1 つ上がるから、
0 が 1 つふえるね。
 $\frac{1}{10}$ にすると、位^{くらい}が 1 つ下がるから、
0 が 1 つへるね。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

一兆 ^{ちよう}	千億 ^{おく}	百億	十億	一億	千万	百万	十万	一万	千	百	十	一
		8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

$\frac{1}{10}$

10 倍

100 倍



◆大きな数のかけ算

359 × 704 の計算のしかたを考えましょう。

			3	5	9
		×	7	0	4

$$\begin{array}{r} 359 \\ \times 704 \\ \hline 1436 \\ 000 \\ \vdots \end{array}$$

ひっさん
の筆算を
かんたんに
すると…。

くらい
位ごとに分けて
かければいいね。



23 億 × 30 の計算のしかたを考えましょう。

1 億をもとにして考えると…。

23 億は 1 億が こ

23 億 × 30 は

1 億が × こ

23 億 × 30 =

筆算で考えると…。

$$\begin{array}{r} 2300000000 \\ \times 30 \\ \hline \end{array}$$

◆練習

① 457 × 217

② 530 × 608

③ 19 兆 × 80

	×			

		×		

1 兆をもとにして
考えると…。

